

表領域への操作

1. 表領域の新規作成

[サーバー] タブ→記憶域・セクションの「表領域」

作成 ボタンをクリックすると、新たな表領域が作成できます

2. 表領域への操作

[サーバー] タブ→記憶域・セクションの「表領域」

データファイルの追加

オフライン

読取り専用

セグメント・アドバイザの実行

表領域の内容表示

			作成
編集	削除	アクション <input type="text"/> ▾	実行
選択	名前	割当て済サイズ	
<input type="radio"/>	<u>SYSTEM</u>	100	
<input type="radio"/>	<u>SYSAUX</u>	100	
<input type="radio"/>	<u>USERS</u>	200	
<input checked="" type="radio"/>	<u>HANBAI-DATA</u>	4000	

操作方法

対象の表領域をチェック●して、アクションを選択したのち、**実行** ボタンをクリックする。操作できる内容は、データファイルの追加、オフライン、読取り専用、表領域の内容表示、セグメント・アドバイザの実行 などである

また、表領域の名前部分をクリックすると、表領域を構成するデータファイルの一覧が表示される

3. データファイル自体の容量拡張と自動拡張を設定する方法

2. の操作で表領域の名前部分をクリックして、表領域を構成するデータファイルの一覧を表示させ、次に表示されたデータファイルの名前部分をクリックすると容量拡張と自動拡張が行える

hanbai-data01 E:¥oracle-data¥hanbai-data01.dbf